

令和7年度 第61回 九州一般ハンドボール選手権大会
兼 第55回 九州女子クラブハンドボール選手権大会
【実 施 要 項】

- 1 主 催 九州ハンドボール協会
- 2 主 管 沖縄県ハンドボール協会
- 3 後 援 豊見城市教育委員会 浦添市
- 4 協 賛 株式会社モルテン
- 5 会 期 令和7年5月10日(土)～5月11日(日)
- 6 会 場 ○豊見城市民体育館(10日男子1、2回戦 11日女子交流戦、男女準決勝、決勝)
(40m×20m 2面：豊見城市字豊崎5-2 TEL 098-850-1550)
○ANA アリーナ浦添(10日女子1、2回戦 11日女子交流戦 男子西日本大会決定戦)
(40m×20m 2面：浦添市仲間1-13-1 TEL 098-876-7322)
- 7 日 程 ○代 表 者 会 議：5月1日(木)19時～
○開 会 式：同 上
○競 技 1 日 目：5月10日(土)9：30～
○競 技 2 日 目：5月11日(日)9：30～
○表 彰 式：5月11日(日)決勝戦終了後 豊見城市民体育館
- 8 種 別 一般男子16チーム、女子16チーム(各県男女2チーム)

※ 各県男女2チームが参加しない場合は、開催県及び次年度以降の開催県順に
チームを補充する。(沖縄→佐賀→鹿児島→福岡→熊本→大分→宮崎→長崎)
- 9 参加資格 (1)(公財)日本ハンドボール協会に「一般A登録」したチームであること。
(2)各県協会主催の予選会に参加し、推薦されたチームであること。
- 10 参加人数 登録は、役員4名、選手16名の計20名とする。
ただし、役員が選手を兼ねる場合は、選手としても申込をする。
- 11 競技規則 (1)2025年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則に準ずる。
(2)競技時間は、30分-10分-30分とする。
(全国クラブ西地区代表決定戦は、25分-10分-25分)
同点の場合は、第一延長(休憩5分後にトス、5分-1分-5分)のみ実施する。
(3)競技方法は、トーナメント方式とする。
(4)使用球は、(株)モルテン製「ヌエバX5000」とする

- 12 表彰 (1) 男女ともに上位2チームを表彰する。
(2) 男子上位4チームと女子上位2チームをジャパンオーブントーナメント
(8月9日～12日：青森県)に九州ハンドボール協会より推薦する。
(3) 男女ともに6チームを全国クラブ西地区大会(7月5日～6日：福岡県)に九州ハンドボール協会より推薦する。
- 13 組合抽選 3月に開催される九州ハンドボール協会理事会において、各県理事長の立ち合いのもと、抽選して決定する。組み合わせは、全チームの参加申込が完了後に公開する。なお、シード決定は以下の通りとする。
(1) 前大会の優勝・準優勝チームの県代表チームとする。
(2) シード権をもつ県の県内予選(推薦)順位が、組合せに反映される。
- 14 参加料 1チーム20,000円とし、参加申込等と同時に4月15日(火)までに下記口座に振り込む。
申込後の返金を行わないが、大会が中止となる場合は返金を行う。
- | |
|---|
| 沖縄海邦銀行 新都心支店 普通 口座番号 156234
沖縄県ハンドボール協会 会長 宮城 靖
(オキナワケンハンドボールキョウカイ カイチョウ ミヤギ ヤスシ) |
|---|
- 15 参加方法 (1) 各種申込等の書式については、九州ハンドボール協会HPからダウンロードして作成する。
(2) 郵送及び送信先は下記で、期限は「4月15日(火)必着」とする。
- | |
|---|
| 〒901-2126 沖縄県浦添市宮城6丁目13番地1号
沖縄県ハンドボール協会大会事務局 宮城政司
Mail: kowan6131@coral.okinawa |
|---|
- 各県予選会の日程の関係で申込が遅れる場合には、事前に連絡の上、各県予選会が終了後、速やかに申込を行うこと。
記入・捺印もれ等の不備がないようにする。
提出物は以下とする。
- ① 参加申込書・・・Eメールにてデータ送付
 - ② 誓約書(協会長押印)・・・原本を郵送
- (3) 選手・役員の変更は原本(必要書類)、データとも5月8日(木)必着で上記大会事務局に送付すること。
- 16 参加上の意点 (1) ユニフォームは、同系色でない濃淡のはっきり区別できるものを異なる4色で、ゴールキーパー・コートプレーヤーでそれぞれ2着以上用意する。
(2) 背番号は、参加申込書と同一とする。
(3) 代表者会議は、各チーム責任者及び選手1名が出席する。
(選手は主将でなくてもよい)
(4) 役員・選手の変更は、15-(3) 正規の手続きを行う。

- (5) 参加選手及び役員は写真を添付した登録証を持参し、ユニフォームの確認及びトス時にテクニカルオフィシャルに提出する。
- (6) 参加申込書を記入する際は、2027年4月からの公認資格義務化に向けて、資格を保有する役員の資格名を記入すること。該当者がいない場合は、資格名は空欄とし、今後の義務化に向けて公認資格の取得に努めること。
- (7) 競技中の傷害や疾病に対しては、応急的な処置は各チームの責任で行い、主管側では近隣医療機関の紹介案内を行うのみとする。
- (8) 松ヤニ及び松ヤニスプレーの使用は厳禁とする。両面テープの使用は認める。
- (9) 会場使用にあたっては、各施設の規則やマナーを厳守する。特に体育館においては、体育館シューズ・体育館専用ボール（松ヤニのついていないもの）を使用する。
- (10) チームで出したごみ（特に両面テープ・弁当殻等）は、必ずチームで持ち帰り、会場施設に放置しない。
- (11) 役員外にトレーナーがいる場合は、ベンチ後方に外部トレーナー席を設ける。ただし、離席やチーム・選手への指示等は一切できず、自席での処置のみとする。トス時には、チーム責任者が必ずテクニカルオフィシャルに申告する。

17 宿泊弁当 宿泊・弁当については、大会事務局では斡旋はしないので、各チームで手配すること。